



補聴器 HB-A5

共通取扱説明書

- お買い上げいただきありがとうございました。
- 「取扱説明書・使い方ガイド」もお読みください。
- 補聴器をお使いになる前に、この取扱説明書を必ずお読みになり正しくお使いください。
- お読みいただいたあとも大切に保管し、分からないときは再読してください。

おまかせ



使用電池は PR41 です

お客様へ

このたびはリオネット補聴器をお買い上げいただきましてありがとうございます。
本製品についてのご意見、ご要望がございましたら、以下にお願いいたします。

本社・営業部

〒185-8533

東京都国分寺市東元町 3-20-41

リオネット補聴器お客様コールセンター
フリーダイヤル 0120-2933-76
受付時間 9:00 ～ 21:00

お断り

この補聴器は、出力レベルをおさえ
て出荷しております。
調整は買い求め
のお店に依頼
してください。

お断り

この補聴器は132 dB
以上の出力を有する
ので、フィッティ
ングにおける最大出力
音圧の設定には注意
が必要です。



注意

1. MRI 検査を行う場合は、補聴器を検査室に持ち込まないでください。

誘導起電力による局所的な発熱で火傷の恐れがあります。また、磁気により本製品が MRI 装置に吸着されたり、故障する可能性があります。

2. 幼児または誤って口に入れてしまいそうな方の手が届かないところに補聴器や電池を保管してください。(8、12 ページ参照)

補聴器や電池は飲み込むと危険です。

3. 耳せんを正しく取り付けてください。(43 ページ参照)

耳せんが正しく取り付けられていない場合、耳せんが外れて、耳の中に残る恐れがあります(39、43 ページ参照)。耳せんが耳の中に残ってしまった場合は、耳鼻咽喉科医師にご相談ください。



注意

4. 万一装用中にオーダーイヤチップが破損した場合は、無理に取り出さずに耳鼻咽喉科医師にご相談ください。
5. 万一電池が破損し、電解液にふれたときは、すぐに水で洗い流してください。
皮膚を傷める恐れがあります。
6. 正しい装用をしてください。
「取扱説明書・使い方ガイド」を参照して装用してください。耳を傷めることがあります。また、補聴器からピーピー音が発生するハウリング状態になりやすくなります。ピーピー音を防ぐためには、「ピーピー音を防ぐためには」(31 ページ)を参照してください。



注意

7. 生後 36 か月未満の子供が S チューブを使用する際には、オーダーイヤチップを必ずご使用ください。耳せんを使用した場合、誤飲の恐れがあります。

8. 生後 36 か月未満の子供がフックを使用する際には、白線入りの接続チューブを必ずご使用ください。

白線入りでない接続チューブを使用した場合、誤飲の恐れがあります。

9. 生後 36 か月未満の子供が使用する際には、電池の誤飲を防ぐため識別チップ(チャイルドロック) (20～23 ページ参照)を必ずご使用ください。

識別チップ(チャイルドロック)については、お買い求めのお店にお問い合わせください。

目 次

1. 注意事項

お使いになる前に	1
使用の中止	4
補聴器の取り扱いと保管上の注意	5
電池の取り扱いと保管上の注意	12

2. 使い方

フックと S チューブについて	16
各部の名称	18
付属品	19
左右の識別	20
電池の取り出し方 (識別チップ(チャイルドロック)の場合)	22
指向性機能・その特長	24
電源を入れ直す際のご注意	24
メモリーについて	25
誘導コイルについて	28
電池交換のお知らせ	30

ピーピー音を防ぐためには	31
電池寿命について	32
電話／携帯電話で話すときの使い方.....	34

3. お手入れ

使い終わったら	36
携帯ケース (付属品) について	46
乾燥ケース (別売品) について	46
修理に出す前に	47

4. 使いこなそう

両耳装用について	50
補聴器に慣れるために	52
補聴器が苦手なこと	54
周囲の方へのお願い	56

5. 仕様・その他

仕様 (フック)	58
仕様 (S チューブオプション)	60
輸送や保管に関する環境条件	62
電池寿命／適応難聴	62

電撃保護.....	62
補聴器おぼえがき	63
調整・修理・点検の記録.....	64

お使いになる前に

1

1. 補聴器は、お客様の聞こえを元通りにするものではありません。聞こえを補う医療機器です。大きすぎる音で聞いたり、耳に合わない使い方をしたりすると、耳を傷める原因になります。また、補聴器からピーピー音が発生するハウリング状態で使用し続けると、聞こえを悪くすることがあります。
2. 補聴器を使うときは、必ず聞こえの程度を病院やお買い求めのお店で調べてもらってください。補聴器の調整は聞こえの程度に合わせて、耳鼻咽喉科医師またはお買い求めのお店で調整してもらいましょう。
3. 使い始めは音量を小さめにして、慣れるに従って少しずつ音量を加減してお使いください。

-
4. 補聴器はお客様の耳に合わせて調整されています。他人に補聴器を貸したり、他人の補聴器を借りたりするのはおやめください。他人がこの補聴器を使うと、耳を傷める場合や感染する場合があります。
 5. 耳の治療をされている方、治療したことのある方は、耳鼻咽喉科医師にご相談の上お使いください。
 6. 子供の場合は、難聴の度合を調べにくいので、必ず耳鼻咽喉科医師の指導を受けてからお使いください。
 7. 体質によって、かゆみ・かぶれを生じる場合があります。皮膚に異常を感じたときは、ご使用をおやめいただき耳鼻咽喉科医師にご相談ください。

-
8. 快適にお使いいただくために、お使いになる前には、耳を清潔にしてください。
 9. 長期間補聴器を使用しないときは電池を取り出してください。電池は液漏れの恐れがあります。
 10. 補聴器は外観の点検を行ってから装着してください。ひび、キズが入った補聴器やオーダーイヤチップは使用しないで買い求めのお店で点検修理を行ってください。万が一、装用中にオーダーイヤチップが破損した場合は、無理して取り出さずに耳鼻咽喉科医師にご相談ください。
 11. 補聴器を使用する前に、電子機器または電磁波を発する機器の使用制限がないかどうか確認してください。

使用の中止

以下のような症状があらわれたときは、補聴器の使用を中止し、すぐに医師またはお買い求めのお店にご相談ください。

- 補聴器が皮膚に接する部分がかぶれたり湿疹ができたりしたとき。
この補聴器の皮膚に接する部分には、炎症を起こしにくい材料を使用していますが、体質によってはまれにかぶれや湿疹を生じることがあります。
- 使用中に耳だれが生じたり、何らかの事情で耳の治療が必要になったりしたとき。
- 以前に比べ、急に耳の聞こえが悪くなったと思われるとき。
- めまいや頭痛が生じるとき。
- 耳の中に痛みが生じるとき。

補聴器の取り扱いと保管上の注意

落とさないように

洗面所や道路など、落とすと壊れやすい場所で、補聴器をつけたり外したりするのはおやめください。補聴器の着脱は、畳やじゅうたんなど柔らかい敷物の上で、座って、落ち着いて行ってください。



ヘアスプレー、香水等に注意

補聴器装用時にヘアスプレーや香水等、気化する物のご使用はおやめください。補聴器の故障の原因となる場合があります。



内部をさわらないで

内部は特に精巧にできています。ハリ、ピン、ペン先、楊枝、ツメの先などで、つついたり、差し込んだりしないでください。



強力な磁気を帯びたものを触れさせないで

補聴器は、強力な磁気を帯びたものに接触すると、故障することがあります。強力な磁気を帯びたものを触れさせないでください。



水に濡らさないで

補聴器は濡れると故障する恐れがあります。取り扱いは必ず乾いた手で行ってください。入浴時、洗顔時は外し、濡れたテーブルの上などに不用意に置かないようにしてください。突然の雨や台風の時にも注意してください。



水の中に落としたら？→応急処置→点検依頼

万一、水の中に落としてしまった場合は、まず乾いた布で補聴器の外側の水分をよく拭き取ります。電池ホルダーを開け切り、電池を取り出して、耳せんを外して、乾いたタオルなどの上にのせ、水分が切れるようにしばらくおいて乾燥させます。

以上が応急処置ですが、できるだけ早くお買い求めのお店に点検を依頼してください。



電子レンジ、食器乾燥機、ドライヤーなどの電気機器で乾燥させるのはおやめください。補聴器が故障します。



電子レンジ、
食器乾燥機、
ドライヤーなど

幼児などに注意

補聴器は幼児またはその他誤って口に入れてしまいそうな方の手の届かないところに保管してください。万一補聴器を飲み込んでしまったときは、窒息する恐れがありますので、直ちに医師にご相談ください。



ペットに注意して

テーブルの上などに置き忘れると、ペットがじゃれて遊んだり、かじったりして、補聴器を壊すことがあります。ペットがいるご家庭では注意してください。



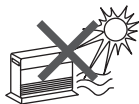
診断・治療を受けるときは

治療や検査の種類により補聴器に悪影響を与える場合があります（CT など X 線を使用する診断、マイクロ波治療器など電磁波を利用する機器、放射線による治療など）。医師や検査技師に補聴器を外すかどうかお尋ねください。なお MRI 検査を行う場合は、補聴器を検査室に持ち込まないでください。詳しくは巻頭の「i」ページをご覧ください。

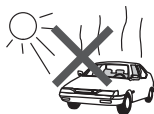


置き場所は？→高温多湿は避ける

ストーブのそばや直射日光の当たる場所など温度の高いところ、浴室、加湿器のそばなどの湿気の多いところには置かないでください。使用しないときは、乾燥ケース（別売品）への保管をお勧めします（46 ページ参照）。



また、真夏の車の中なども閉め切っていると高温になり、補聴器が故障することがあります。



フックやSチューブは外せません

フックやSチューブを無理にねじると、故障します。

修理が必要だと思っても、ご自分では絶対に修理しないでください。

ご使用済みの補聴器は

ご使用済みの補聴器の廃棄方法は、お住まいの自治体かお近くの販売店へお問い合わせください。

電池の取り扱いと保管上の注意

1 幼児またはその他誤って口に入れてしまいそうな方の手の届かないところに保管してください。電池を飲み込むと窒息したり、胃や腸を傷めたりする恐れがあります。万一飲み込んだときは、直ちに医師にご相談ください。



応急処置方法などについては、以下の（公財）日本中毒情報センターにご相談ください（ただし通話料は相談者の負担）。

- ・ つくば中毒 110 番 TEL 029-852-9999

24 時間 年中無休

- ・ 大阪 中毒 110 番 TEL 072-727-2499

24 時間 年中無休

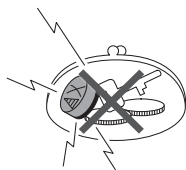
火中への投入や充電・分解はしないでください。
破裂する恐れがあります。



電池をご使用になるまでは、シールをはがさないでください。一度シールをはがした場合、使用しなくても電解液の劣化によって電池寿命は短くなります。



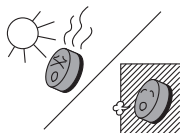
電池を金属類に接触させないでください。財布やポケットの中に電池を入れておくと鍵や硬貨などと接触して、電池が消耗したり破裂したりすることがあります。



補聴器を使用しないときは、液漏れの恐れがありますので、電池を取り出しておいてください(「取扱説明書・使い方ガイド」参照)。電池は乾燥ケース(別売品)の電池収納スペースに保管することをお勧めします(46 ページ参照)。



予備の電池の保管は高温多湿となる場所を避けてください。温度変化の少ない涼しい場所に保管してください(冷蔵庫は不可)。



外出の際は予備の電池をお持ちください。



使用済みの電池は、セロハンテープにくるんで、お買い求めのお店に戻してください。



フックとSチューブについて

この補聴器の形状には、次の2種類があります。

● フック (標準)

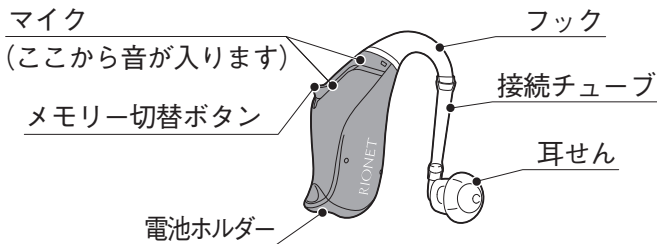
● Sチューブ (オプション)

フックとSチューブでは、取り扱い方法などが、異なります。記載されているページについては、次ページの表をご参照ください。

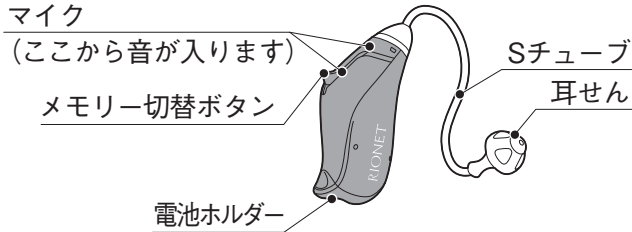
	フック	S チューブ
各部の名称 (形状)	18 ページ	18 ページ
付属品	19 ページ	—
お手入れ	38～39 ページ	41 ページ
耳せんを取り外す	38～39 ページ	42 ページ
耳せんを取り付ける	38～39 ページ	43 ページ

各部の名称

フック (標準) の場合



Sチューブ (オプション) の場合



-
- 補聴器には、型式、製造番号が書いてあります。

付属品

- 識別チップ右 (赤)
- 識別チップ左 (青)
- 電池取り出しツール
- 携帯ケース
- ソフト耳せん S
- ソフト耳せん MS 付きジョイント B 組立
- 空気電池 (PR41)
- 取扱説明書・使い方ガイド
- 共通取扱説明書 (本書)
- 保証書

交換可能な別売部品：耳せん、接続チューブ (ジョイント)

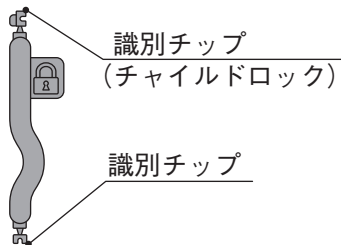
左右の識別

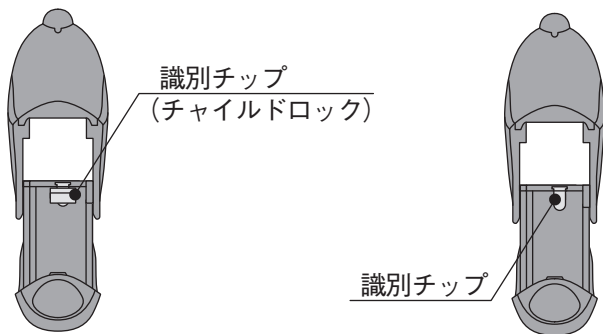
左右の識別は、「識別チップ」の色で行います(右耳は赤、左耳は青)。

「識別チップ」の取り付けは、お買い求めのお店で行います。

「識別チップ」は、付属品の「識別チップ」(下図参照)の両端に、「識別チップ(チャイルドロック※)」と「識別チップ」があり、選ぶことができます。

詳しくは、お買い求めのお店にご相談ください。





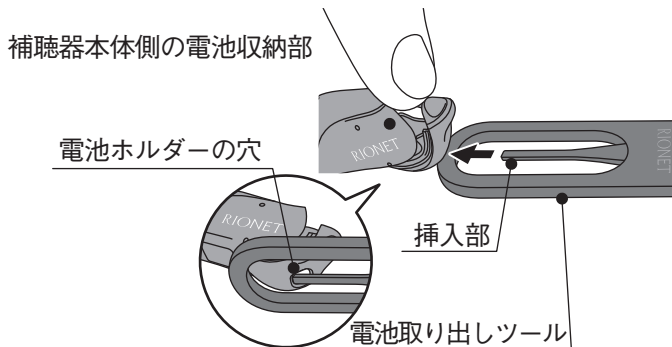
※「チャイルドロック」とは、電池の誤飲を防ぐため、電池ホルダーを開けただけでは、電池を取り出すことができないしくみのことです。

電池の取り出し方(識別チップ(チャイルドロック)の場合)

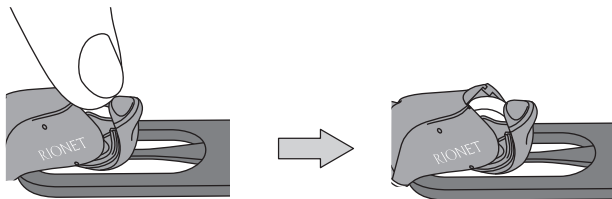
「識別チップ(チャイルドロック)」(20～21 ページ参照)が取り付けられている場合は、付属品の「電池取り出しツール」を使用して、電池を取り出します。

2

1. 電池ホルダーを開け、電池が「補聴器本体側の電池収納部」に入らないように、指で押さえながら「電池取り出しツール」の「挿入部」を「電池ホルダーの穴」に入れます。



2. そのまま「電池取り出しツール」の「挿入部」を奥まで入れ、電池のロックを外します。その後「電池ホルダー」から電池を取り出します。



もし「補聴器本体側の電池収納部」に電池が入ってしまった場合は、電池ホルダーを閉めて再度電池の取り出し操作をやり直したり、補聴器の向きを上下逆にしたりして電池を取り出します。

子供の見ているところで、この作業を行わないでください。
子供がまねをする恐れがあります。

指向性機能・その特長

2

指向性機能とは、その設定によって、後ろや横などの音を小さくし、正面などの音を聞き取りやすくする機能です。

指向性の機能が働いている場合、後ろなどからの警報音なども小さくなります。
2つあるマイク音口の片方でも、汚れなどがつまると、指向性機能が十分に発揮できなくなります。

電源を入れ直す際のご注意

電源を切った後、すぐに電源を入れ直すと音が出ないことがあります。このような場合は一度電池ホルダーを開け（電源：切）、10秒以上待ってから改めて電池ホルダーを閉めてください。

メモリーについて

ボタンを押すたびにメモリーが切り替わり、そのたびに異なる「音量」や「音質」になります。なお、このボタンはお客様の使用目的などにより、さまざまな設定ができます。お買い求めのお店に相談し、設定をご確認の上、ご利用ください。

●ボタンの使い方：次のどちらかに設定されています。

- ・「音量切替」：ボタンを押すたびに音の大きさが変わります。
- ・「メモリー切替」：ボタンを押すたびに音質が変わります。

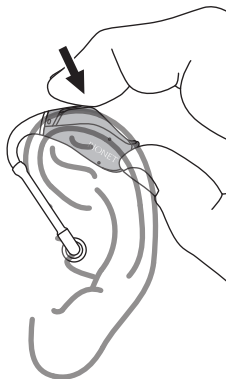
●メモリーの種類(数)：ご使用の補聴器により、メモリーの最大数が異なります。「取扱説明書・使い方ガイド」をご覧ください。

●ミュート機能を入れている場合、メモリー切替ボタンを2秒以上押し続けると、ミュート(音が出ない状態)になります。詳しくは「取扱説明書・使い方ガイド」をご覧ください。

●メモリー切替ボタンの押し方、2つの例

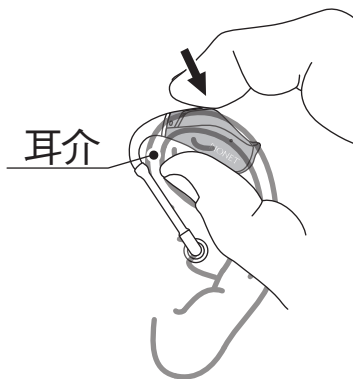
例1

後頭部側から手を添えます。
電池ホルダーを親指で押さえつつ、人差し指でメモリー切替ボタンを押します。

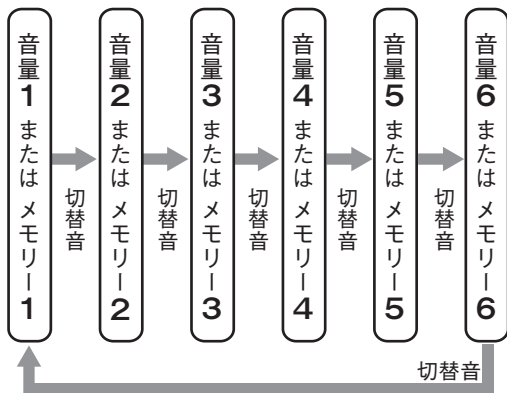


例2

後頭部側から手を添えます。
耳介の内側から、耳介ごと親指で補聴器を下から押さえつつ、人差し指でメモリー切替ボタンを押します。



メモリーを切り替えるときには、切替音（お知らせ音）が鳴ります。なお、メモリーの種類や数の設定、また切替音（お知らせ音）の音量や音の種類は、お買い求めのお店で変更することができます（鳴らない設定にすることもできます）。お買い求めのお店にご相談ください。各メモリーはお客様の聞こえにあわせて調整されています。



図は 6 メモリーの場合の流れを示します。

誘導コイルについて

2

この補聴器には誘導コイルが搭載されています。誘導コイルを利用すると、聴覚支援学級、また、公共施設などに設置された「(磁気)ループ席」「補聴器対応席」などで、講演会の演者の声など、目的の音だけを聞くことができます。また、「タイループ」(別売品)を使用して、家庭内でもテレビなどの音だけを聞くこともできます。誘導コイルを利用する場合は、お買い求めのお店にご相談ください。

- ・聴覚支援学級、また「ループ席」などでは床下に磁気ループ(ループコイル)が設置されて、講演会の演者の声などに対応した磁波が発生しています。誘導コイルを搭載した補聴器では、その磁波をキャッチして聞くことができます。

- ・「タイループ」では左記と同様に、首かけ式のループコイルから磁波が発生します。
- ・誘導コイルからの音だけを聞くこともできます。また、誘導コイルからの音とマイクからの音を一緒に聞くこともできます。
- ・「ループ席」などが設けられているかは、公共施設や催し物などにより異なります。

誘導コイルをご使用の場合、電磁波が発生する機器（防犯ゲート等、各種電気製品）の近くや、電気自動車（ハイブリッド自動車）乗車時に、異音を生じることがあります。

電池交換のお知らせ

2

電池交換のお知らせ音が設定されている場合は、電池がなくなりかけると、音声で「電池の交換時期です」とお知らせするか、「ビビ、ビビ、ビビ」というお知らせ音が鳴ります。故障ではありません。

そのまま使用を続けると、5分おきに「音声のお知らせ」またはお知らせ音が鳴ります。電池を新しいものと交換してください。

さらに電池がなくなると、音声で「まもなく電池が切れます」とお知らせするか、「ビ」というお知らせ音が連続で15回鳴った後、動作を停止します。

なお、ご使用状況によっては、次のお知らせ音が鳴る前に動作を停止することもあります。

お知らせ音はお好みの音色・音量に設定できます。お買い求めのお店にご相談ください。

電池交換のおしらせ音が設定されていない場合は、電池交換のおしらせ音は鳴りません。

電池残量が十分でも、結露や汗などにより、電池の中に空気が入りにくくなると、電圧が低下し、お知らせ音が鳴ることがあります。

ピーピー音を防ぐためには

2

補聴器の耳せんが耳に合っていないと、ピーピーという不快な音（ハウリング音）がする場合や、よく聞こえない場合があります。このようなときは、耳せんのサイズや種類の変更、オーダーイヤチップ※¹やイヤモールド※²の使用、またはハウリングキャンセラー※³の使用が有効な場合があります。ハウリングキャンセラーを使用する場合には、お買い求めのお店にご相談ください。

※1：オーダーイヤチップとは、Sチューブの場合に使用するオーダーメイドの耳せんです。

※2：イヤモールドとは、フックの場合に使用するオーダーメイドの耳せんです。

※3：ハウリングキャンセラーとは、ハウリング音がすることをおさえる機能です。

ハウリングキャンセラーをご使用の場合でも、周囲の音によっては、短いハウリング音がする場合があります。

ハウリング音がするのは、耳せんなどから大きくなって出てきた音が、再びマイクに入る動作が繰り返されることが原因です。

電池寿命について

2

取扱説明書に記載された「電池寿命」とは…

この値は日本産業規格に定められた測定条件で測定された「電池の電流」と「電池容量」を元に算出された値です。日本産業規格は製品の生産や出荷時の品質保証の目的で制定されています。「電池の電流」は、電池を比較的消耗しない測定条件[※]で測定した値となっています。

※：ハウリングキャンセラーなどのデジタル機能を「切」に設定しています。

実際の電池寿命は…

実際の電池寿命は、さまざまな要因により大きく変化するため、調整されたお客様の補聴器での実際の電池寿命を推定することは困難です。記載された電池寿命よりも短くなるケースがほとんどです。

実際の電池寿命は主に次の要因の影響を受けます。

デジタル機能などの使用の影響

補聴器本体のデジタル機能を「入」に設定すると、電池寿命は取扱説明書に記載された電池寿命の6～8割程度になります[※]。

※：設定されたデジタル機能などにより変化します。

調整・使用環境・空気電池の性質などの影響

影響を受ける程度は条件により異なります。

- ・ 調整：利得および最大出力音圧レベルが高く調整されている場合など
- ・ 使用環境：大きな音、(周波数が)低い音、連続した音など
- ・ 空気電池の性質：冬季の使用(低温、低湿)、室内^{※1}、極端な乾燥^{※2} など
- ・ その他：電源を入れたまま気付かずに放置した場合など

※1：二酸化炭素濃度が高い場合

(暖房や燃焼器具の使用、多くの人が集まる場所など)

※2：誤って、空気電池を乾燥ケースに入れてしまった場合など

電話／携帯電話で話するときの使い方

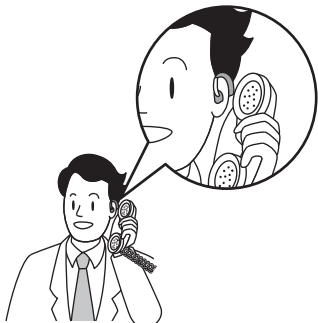
固定電話での通話のとき

マイクの位置(18ページ「各部の名称」参照)を確認してください。受話器を補聴器のマイクの位置に合わせて、耳より少し高めに当てるように持ちます。受話器の面をぴったり押し当てるのではなく、少し前に向けるように角度を開けてください。

“ピー”というハウリング音がしたら、角度を変えてみてください。聞こえ方は受話器の当て方によって異なりますので、実際にお使いになってみて、一番よく聞こえる位置でお聞きください。

「おまかせテレホン」用マグネットが受話器に取り付けてあり、補聴器が「おまかせテレホン」の

設定になっている場合は、受話器を補聴器に接近させると、補聴器のメモリーが、電話用のメモリーに、自動的に変更されます。受話器を補聴器から遠ざけると、それまでのメモリーに戻ります。「おまかせテレホン」については、お買い求めのお店にご相談ください。



携帯電話での通話のとき

携帯電話の持ち方は電話の受話器の当て方と同様です。



電波状況の悪い場所ではノイズが入ることがあります。

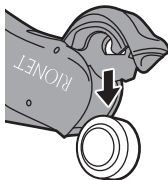
使い終わったら

補聴器のお手入れ

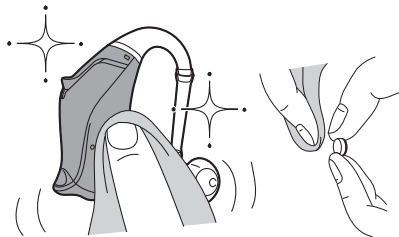
補聴器は、肌や髪の毛にじかに接するので、汗、フケ、整髪料などで汚れやすいものです。補聴器を衛生的に、また故障を防ぐためにもご使用後はよく手入れをしてください。

3 1. 補聴器本体から電池を取り出します。

電池の取り出し方は、「取扱説明書・使い方ガイド」をご覧ください。「識別チップ(チャイルドロック)」(20～21 ページ参照)が取り付けられている場合は、22～23 ページをご覧ください。



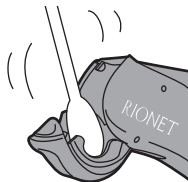
2. 本体と電池についた汚れや水分を柔らかく乾いた布などで拭き取ります。



フックやSチューブは
外せません。
無理にねじると、故障
します。

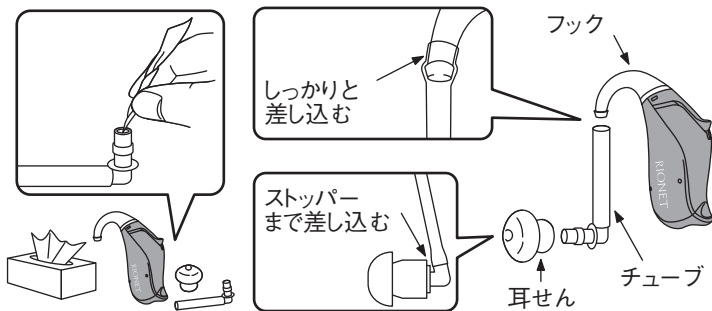
3

3. 電池ホルダーの中も湿っているとさびやすいので、綿棒などで水分を取ってください。



フックの場合のお手入れ

- 耳せんやチューブ、イヤモールドの汚れがひどいときは、フックから取り外し（次ページ参照）、ぬるま湯などで洗い流してください。
- 水滴がチューブや耳せんの中についていないようによく乾かしてから本体に取り付けてください（次ページ参照）。
- チューブをフックに取り付けるときは、小刻みに右・左と回しながら、しっかりと差し込んでください（次ページ参照）。
- 耳せんは根元までしっかりと差し込んでください（次ページ参照）。
- イヤモールドの掃除の仕方については、「イヤモールドのお手入れ（40 ページ参照）」をご覧ください。
- フックは外せません。無理にねじると、故障します。



耳せんが正しく取り付けられていない場合、耳せんが外れ、耳の中に残る恐れがあります。耳せんが耳の中に残ってしまった場合は、耳鼻咽喉科医師にご相談ください。

イヤモールドのお手入れ

- 日常のお手入れは、乾いた柔らかい布などで外側の汚れを拭き取ってください。音口内部に耳あかが詰まると音が出なくなることがあります。汚れがひどいときは、次のような手順で清掃してください。
- ① イヤモールドをフックから外し、少量の中性洗剤を入れた温水の中でよく洗います（音口内部の清掃には綿棒などをご使用ください）。汚れがひどいときはお買い求めのお店へご相談ください。
 - ② 十分に水洗いした後、イヤモールドを振るか、息などを吹きかけて内部の水滴を取り除きます。つぎに、乾いた柔らかい布などで水分を拭き取り、十分に乾かしてください。

詳しくは、イヤモールドの取扱説明書をご覧ください。

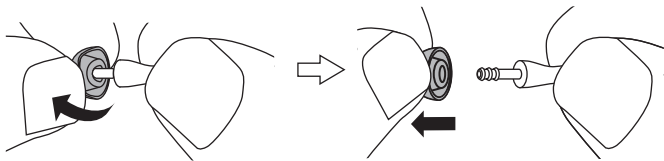
S チューブ (オプション) の場合のお手入れ

- S チューブ用耳せんが汚れていた場合は、S チューブ用耳せんをSチューブから取り外し(42 ページ参照)、ぬるま湯などで洗い流してください。洗浄後は、水滴がSチューブ用耳せんについていないようによく乾かしてから、Sチューブに取り付けます(43 ページ参照)。
- S チューブの内部が汚れている場合は、お買い求めのお店にご相談ください。
- オーダーイヤチップの掃除の仕方については、44~47 ページをご覧ください。
- S チューブは外せません。無理にねじると、故障します。

Sチューブ用耳せんの取り外し

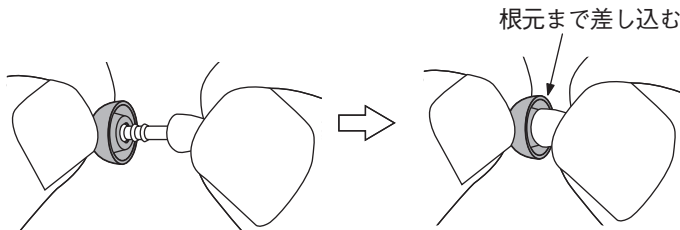
片方の手でSチューブの先端を持ち、もう片方の手でSチューブ用耳せんを少し傾けて引きはがすように取り外してください。

3



Sチューブ用耳せんの取り付け

Sチューブ用耳せんをSチューブの先端の根元までしっかりと差し込んでください。耳せんが正しく取り付けられていない場合、耳せんが外れ、耳の中に残る恐れがあります。耳せんが耳の中に残ってしまった場合は、耳鼻咽喉科医師にご相談ください。



オーダーイヤチップのお手入れ

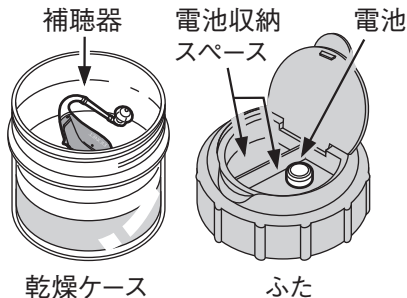
音口に耳あかがたまると故障の原因になることがあります。
オーダーイヤチップに付属しているブラシで掃除してください。
詳しくは、「オーダーイヤチップの取扱説明書」をご覧ください。

携帯ケース (付属品) について

外出時など補聴器を携帯する際は、携帯ケースをご使用ください。

乾燥ケース (別売品) について

乾燥ケース (別売品) をお持ちの場合は、本体は乾燥ケースに入れ、電池は乾燥ケースのふたにある電池収納スペースに入れてください。乾燥ケースは別売品です。お買い求めのお店にご相談ください。



修理に出す前に

ピーピー音がする

- 耳せんやオーダーイヤチップ、イヤモールドが耳穴にしっかり入っていますか？

⇒ 補聴器の電源を切ってから、補聴器を外します。「取扱説明書・使い方ガイド」を見ながら、もう一度耳穴にしっかり入れ直してください。

- 耳せんが耳に合っていますか？

⇒ 耳に合った耳せんをご使用ください（31 ページ参照）。

- マイク音口に手あかなどが詰まっていませんか？

⇒ お買い求めのお店にご相談ください。

音がよく聞こえない

■古い電池を使っていますか？

⇒新しい電池に取り替えてください。

■耳せんに耳あかが詰まっていますか？

⇒新しい耳せんに交換してください。

■耳せんの中に水滴がたまっていますか？

⇒本体から取り外し、布などで拭き取り、自然乾燥させてください。それでもよくならないときは、新しい耳せんに交換してください。

■マイク部に汗がついていませんか？

⇒汗を布などで拭き取ってください。

■電池に汗などの水分がついていませんか？

⇒電池を取り出して水分を拭き取ってください。

音が聞こえない

■古い電池を使っていますか？

⇒新しい電池に取り替えてください。

■ミュート状態になっていませんか？

⇒電池ホルダーを一度開けて、改めて電池ホルダーを閉めて、電源を入れてください。詳しくは「取扱説明書・使い方ガイド」をご覧ください。

■電源を切った後すぐに電源を入れ直していませんか？

⇒電池ホルダーを一度開けて、10 秒以上待ってから改めて電池ホルダーを閉めて、電源を入れてください(24 ページ参照)。

■電池ホルダーがしっかり閉まっていますか？

⇒電池ホルダーをしっかり閉めてください。

それでもよくならないときはお買い求めのお店にご相談ください。

両耳装用について

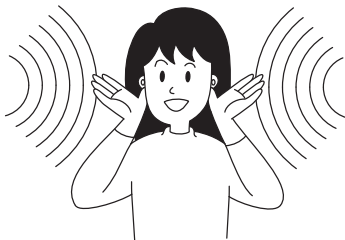
耳のように左右で対をなす器官は、左右のバランスがとても大切です。大勢の人のいる場所や騒音の多い場所での会話など、片方の耳だけでは聞き取りにくい状態も、両方の耳で聞くと解消される場合が多いです。

さらに、片耳装用のときより利得が小さくて済むので、耳にやさしい音で聞くことができます。

4

また、耳には危険を察知する役割もあります。例えば右耳だけで聞いている場合、左側からくる車の音は分かりにくいです。両耳装用であれば音の方向がつかみやすく、危険回避に役立ちます。

ただし、補聴器の両耳装用の効果はお客様の耳の状態により異なります。お買い求めのお店にご相談ください。



補聴器に慣れるために

1



静かな所で会話する。
相手の人にはゆっくり
話してもらう。

2



日常生活で一对一の会
話をする。

3



本などを声を出して
ゆっくり読み、聞いて
みる。

4



静かなところで
テレビのニュースを
聞く。

5

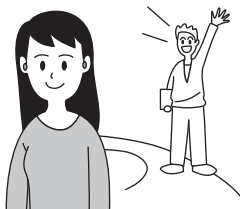


4～5人の会話を聞き、
どの人が話して
いるかに注意し、
自分も話の中に入る。

補聴器が苦手なこと

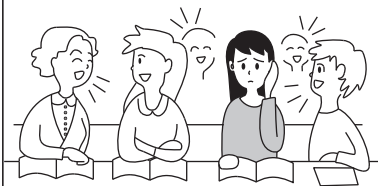
遠くなるほど
聞きにくい

離れたところからの挨拶
や遠くからの呼びかけ



人数が多くなるほど
聞きにくい

人が多く集まる会議や集会、
講演会



雑音が大きいほど
聞きにくい

電車の中、食堂、道路、
大きな物音のする工場、
効果音の大きい
テレビドラマ



スピーカーの声は
聞きにくい

インターホンの声、
電車やバスの車内放送、
病院などの呼び出し音



周囲の方へのお願い

難聴の方が補聴器をつけると、聞こえはある程度改善されますが、聞こえが元通りになるわけではありません。初めて補聴器を使用する方は、補聴器に慣れるまで時間がかかります。決して容易なことではありません。そのため、周囲の方の配慮がとても大切です。補聴器を装用されている方に話しかけるときは、次のような点にご注意ください。

1. 普通の声の大きさと、ゆっくり、ハッキリ、区切って話す。

- donoらずに、普通の大きさの声で話す。
- 聞き取れない言葉は繰り返さず、別の言葉に言い換える。身振り手振りを交えて、ゆっくり話す。
- 区切り方の例: 今日ね／昔の／知り合いに／会いましたよ。

2. 相手の顔を正面に見ながら話す。

- 難聴の方に自分の顔を向ける。
- 難聴の方が見える位置から呼びかける。



3. 周囲の雑音を小さくする。

- テレビやラジオは消すか、音を小さくする。
- 外にいるときは、できるだけ静かな場所で話す。
- よく聞こえていないと思われる場合は、近づいて話す。

仕様 (フック)

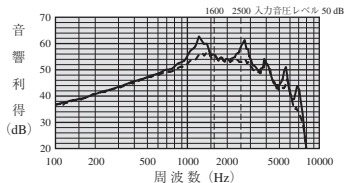
JIS C 5512 : 2015 で表示

	公称値	[許容差]
最大音響利得	HFA : 56 dB	[± 5 dB]
	ピーク値 : 63 dB	[+ 3 dB 以下]
90 dB 入力最大出力音圧レベル	HFA : 125 dB	[± 4 dB]
	ピーク値 : 130 dB	[+ 3 dB 以下]
等価入力雑音レベル	: 18 dB *	[+ 3 dB 以下]
全高調波ひずみ	500 Hz : 2 %	[+ 3 % 以下]
	800 Hz : 1 %	[+ 3 % 以下]
	1600 Hz : 1 %	[+ 3 % 以下]
誘導コイル入力の最大感度レベル	HFA : 80 dB	[± 6 dB]
電池	: PR41	
電池の電流	: 1.10 mA	[+ 20 % 以下]
補聴器本体の大きさ / 質量	: 37.5 × 12.8 × 8.0 mm / 約 2.1 g	

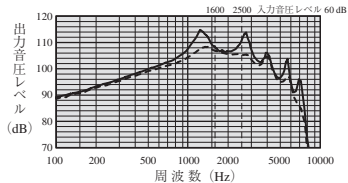
* エクスパンション内蔵

その他の技術的データは、テクニカルインフォメーションに記載されています。

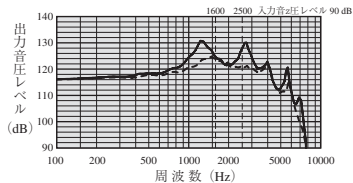
最大音響利得周波数レスポンス曲線



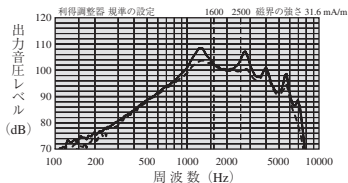
標準周波数レスポンス曲線



90dB 入力最大出力音圧レベルの周波数レスポンス曲線



誘導コイル入力の周波数レスポンス曲線



※ ———：ダンパーなし

-----：ダンパー赤 (出荷時状態)

仕様 (S チューブオプション)

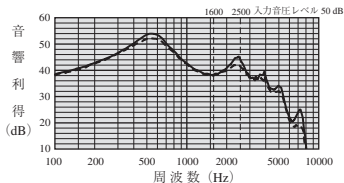
JISC 5512:2015 で表示

	公称値	[許容差]
最大音響利得	HFA : 42 dB	[± 5 dB]
	ピーク値 : 54 dB	[+ 3 dB 以下]
90 dB 入力最大出力音圧レベル	HFA : 111 dB	[± 4 dB]
	ピーク値 : 125 dB	[+ 3 dB 以下]
等価入力雑音レベル	: 31 dB *	[+ 3 dB 以下]
全高調波ひずみ	500 Hz : 1 %	[+ 3 % 以下]
	800 Hz : 1 %	[+ 3 % 以下]
	1600 Hz : 1 %	[+ 3 % 以下]
誘導コイル入力の最大感度レベル	HFA : 66 dB	[± 6 dB]
電池	: PR41	
電池の電流	: 1.20 mA	[+ 20 % 以下]
補聴器本体の大きさ / 質量	: 37.5 × 12.8 × 8.0 mm / 約 2.1 g	

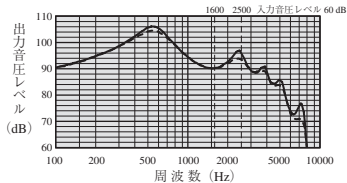
* エクスパンション内蔵

その他の技術的データは、テクニカルインフォメーションに記載されています。

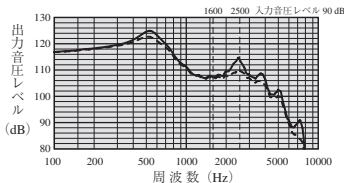
最大音響利得周波数レスポンス曲線



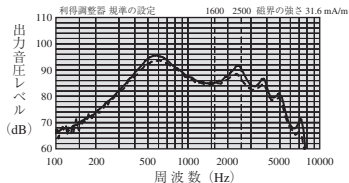
規準周波数レスポンス曲線



90 dB 入力最大出力音圧レベルの周波数レスポンス曲線



誘導コイル入力の周波数レスポンス曲線



※ ———：ダンパーなし

-----：ダンパー赤 (出荷時状態)

輸送や保管に関する環境条件

・温度：－10～50℃ ・湿度：10～90 %（ただし結露なきこと）
直射日光が当たる場所や高温・多湿の場所を避け、室温で保管すること。

電池寿命／適応難聴

電池寿命*： 約150時間（フック）
約135時間（Sチューブ）

適応難聴： 軽度・中等度・高度、伝音・感音・混合性

*：電池寿命は、使用条件によって変わります（32～33ページ参照）。

電撃保護

内部電源機器



補聴器おぼえがき

購入年月日

購入店名

電話

担当者

補聴器製造番号(右)：

補聴器製造番号(左)：

お客様の各メモリーの内容は、「取扱説明書・使い方ガイド」をご覧ください。

調整・修理・点検の記録

日 付	内 容
・ ・	
・ ・	
・ ・	
・ ・	
・ ・	
・ ・	

お願い

万一、修理が必要になりましたら、お買い求めのお店に修理を依頼してください。ご自分では絶対に修理しないでください。

使い方、お手入れ、その他に関してご不明な点がございましたら、お買い求めのお店にご相談ください。

故障がなくても、1年に1度はお買い求めのお店で点検・調整してもらいましょう。

製造販売元



リオン株式会社

<https://www.rion.co.jp/>

本社・営業部

〒185-8533 東京都国分寺市東元町 3-20-41

リオネット補聴器お客様コールセンター

フリーダイヤル 0120-2933-76

受付時間 9:00 ～ 21:00